

・青森県教育委員会教育長賞

おむすびデー

合浦小学校（青森市）

一年 工藤 芽依 奈

わたしはおにぎりが大スキです。わけはおにぎりにはたのしいおもいがあるからです。

ようちえんのとき、おむすびデーがありました。いつもはきょうしつでたべるおにぎりを、この日はテラスやがっぱこうえんでたべます。そとでたべるので、そらがきれいで、かぜがきもちよくて、おにぎりが増えますおいしくかんじられました。

おにぎりは、おかあさんがわたしのすきなぐざいを入れてつくってくれます。からあげ、さけ、カツ、ふりかけなどいろいろあって、えらぶのもたのしいです。わたしがお手つだいをすることもあります。ハートのおにぎりにしたり、ラップにシールをはったりします。

おかあさんがころをこめてつくってくれて、わたしがお手つだいをすると、さいこうのおむすびができます。

「おひるですよ。」

おにぎりが入っているかばんとシートをもって、テラスにいけます。わたしは、すきなばしょにすわって、

「わたしのおむすびの中みはなあんだ。」

と、ともだちにクイズを出します。わたしは、「あたるかな。」と、どきどきしながらこたえをまちます。そして、まるいおにぎりを大きな口をあけてたべます。のりとしおとぐざいのいいおもいっしょにたべます。

「おむすびデーはたのしいね。」

とみんなではなしながら、たのしくてわすれられないじかんをみんなですごしました。

おうちにかえっておべんとうばこを出すと、

「ぜんぶたべたの。ありがとう。」

とおかあさんがいってくれました。わたしも

「おいしいおにぎりをつくってくれてありがとう。」

といいます。このおむすびデーは、みんながにこにこのかおになるので、ようちえんのとき一ばんのおもいです。

